第 194 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録

１. 日時　2009 年 8 月 26 日(水)　11:00～12:00

２. 場所　松江テルサ(〒690-0003 松江市朝日町 478-18) 特別会議室

３. 出席者　(順不同，敬称略，○：出席，×：欠席)

穂積委員長(愛工大)	○	岡下委員(昭和電線)	○	岡本委員(富士電機)	○
大嶽氏(日立製作所,小林委員代理)			○	清水委員(東芝)	×
高橋委員(ビスキャス)	○	中坊委員(日新電機)	○	菱川委員(ﾊﾝﾂﾏﾝ･ｼﾞｬﾊﾟﾝ)	×
藤井委員(日本ｶﾞｲｼ)	○	本城委員(三菱電線)	×	武藤委員(三菱電機)	×
渡辺委員(日立電線)	×	岩本委員(東工大)	×	江原委員(東京都市大)	×
加藤委員(新潟大)	×	池田委員(新日本石油精製)	×	田中(康)幹事(東京都市大)	○
芦辺幹事(住友電工)	○	高橋幹事補(電中研)	○	今井幹事補(東芝)	○

４. 提出資料

番号なし	第 193 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録 (案)
DEI-194-1	電気学会 誘電・絶縁材料技術委員会 委員名簿
DEI-194-2	第 81 回 基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会 報告
DEI-194-3	屋外ポリマー絶縁材料の性能評価･改質技術調査専門委員会 設置趣意書(案)
DEI-194-4	研究会論文投稿システム構築本格運用に伴う今後のスケジュールについて
DEI-194-5	第 9 回ナノ分子エレクトロニクスに関する国際会議(ICNME2010)の協賛について
DEI-194-6	電子情報通信学会 有機エレクトロニクス国際シンポジウム(ISOME2010)協賛のお願い

５. 議事内容

5-1. **委員長挨拶**

穂積委員長より、これから始まる第 40 回電気電子絶縁材料システムシンポジウムの発表は 74 件(ここ 10 年で最多)となったことが紹介され、盛り上げていってほしいとの挨拶があった。また、若手セミナーの参加者は 49 名(韓国からの参加者を含む)となり、高田先生(東京都市大)，田中様(ビスキャス)，飯山様(日産自動車 総合研究所 燃料電池研究室)の講演が予定されていることが紹介された。

5-2. **議事録の確認・承認**

田中幹事より、第 193 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録(案)の報告があり、承認された。

5-3. 名簿の確認

資料 DEI-194-1 により委員の所属等についての確認を行った。修正がある場合、高橋幹事補に連絡する。

5-4. 基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会 報告

資料 DEI-194-2 に基づき、穂積委員長の代理として出席した高橋幹事補より、第 81 回運営委員会での議事内容について報告があった。

- 電子情報通信学会との研究会については、平成 21 年度は従来通りの開催形式(合同、或いは共催)とするが、平成 21 年度以降からは併催、或いは連載とする。これにより、当技術委員会関係の論文数が減少する可能性がある。
- 放電技術委員会からた英文誌への投稿補助申請があった。当技術委員会の ISEIM2008 特集号においても同様の補助申請が可能であるため、今後、申請準備を進める。
- 技術報告執筆時における著作権関係の手続きを確実に実施するよう、運営委員会から各技術委員会に要請があった。

ISEIM2008 特集号の準備が遅れていることが田中幹事から報告された。査読により掲載予定論文数が減ったため、論文を追加する予定である(当初の論文数 7 件を維持する)。

5-5. 屋外ポリマー絶縁材料に関する調査専門員会の設置について

資料 DEI-194-3 に基づき、高橋幹事補から屋外ポリマー絶縁材料の性能評価･改質技術調査専門委員会 設置趣意書が報告された。当技術委員会での審議により設置が承認された。次回の運営委員会において、設置申請を行う。

設置趣意書における構成委員の記載順序にはルールがあるため(委員名はあいうえお順とする)、これに従い修正をする。

5-6. 新研究会論文投稿システムについて

資料 DEI-193-4 に基づき、今井幹事補から、新研究会論文投稿システムの注意点と今後のスケジュールが報告された。

- 新論文投稿システムでは、締め切り日は、従来の開催日の 1 ヶ月前から、３週間前に変更になる。
- 締め切り日を過ぎると、投稿用 Web-site へのアクセスができなくなり、投稿できなくなるので、締め切り日を厳守する。
- 当技術委員会下の研究会において、新論文投稿システムを最初に使用するのは、秋田での開催を予定している研究会(トリー，トラッキング，絶縁一般)となる。

穂積委員長より、秋田で開催予定の研究会を、予定の 10 月に開催することが困難な状況であることが報告された。このため、12 月に予定している「空間電荷」に関する研究会と合同で、秋田で開催することとし、12 月 4 日，5 日を候補日として調整を行う。

5-7. **第 9 回ナノ分子エレクトロニクスに関する国際会議**(ICNME2010)**の協賛について**

資料 DEI-194-5 に基づき、高橋幹事補から、第 9 回ナノ分子エレクトロニクスに関する国際会議(ICNME2010)の協賛申請があったことが報告された。当技術委員会での審議により承認された。また、本申請は、運営委員会において、承認済みである。

5-8. **有機エレクトロニクス国際シンポジウム**(ISOME2010)**の協賛について**

資料 DEI-194-6 に基づき、高橋幹事補から、電子情報通信学会 有機エレクトロニクス国際シンポジウム(ISOME2010)の協賛申請があったことが報告された。当技術委員会での審議により承認された。今後、運営委員会へ申請を行う。

5-9. **全国大会でのシンポジウム開催申請について**

高橋幹事補から、加藤委員(新潟大)より有機薄膜及ぶ複合膜のナノ界面物性とデバイス・センサ応用に関する全国大会シンポジウムの開催申請があったことが報告された。今後、全国大会運営委員会に開催申請をする。

６. 次回委員会

12 月 4 日，5 日の開催で調整を行う秋田での研究会の直前、或いは直後の開催で調整を行う。

以上